

人形劇 × 邦楽

序章・終章と二幕九場

さねとう あきら先生 追悼 / 人形劇団ポポロ第56回公演

平成十八年度文化庁芸術祭参加

# おひめさま

さねとうあきら原作「ゆきこんこん物語」所載  
「おひめさま」(理論社刊)より

題字・木村雪苑

脚色・演出	山根 宏章
脚本補訂	さねとう あきら
音楽	大倉 ただし
美術	松本 真知子
書(舞台美術)	木村 雪苑
照明	渡辺 賢二
音響	黒 喜幸
邦楽演奏	仲林 光子
	吉口 克彰
	仲林 利恵

百年経ってもまだ生きつづく  
壮絶な女の生き様

こころの闇を  
笛が裂き三弦が震え  
人形が狂い身悶え  
清澄な地唄がただただ語る



2017.3.11 (土) 14:00 / 19:00 開演 | 12 (日) 11:00 開演

チケット発売開始 2017年1月

武蔵野芸能劇場 JR 三鷹駅徒歩1分  
東京都武蔵野市中町1丁目15番10号

入場料(税込) 前売 4,500円 当日 5,000円 **全席指定**

詳しい情報は公式サイトへ <http://pup-popolo.co.jp/oni/>

お問い合わせ  
チケットのお申込みは

人形劇団ポポロ

TEL.042-344-3389(代) FAX.042-346-6118

〒189-0012 東京都東村山市萩山町1-8-39  
E-mail: pupetpop@pup-popolo.co.jp

初演と同じ武蔵野芸能劇場で

追悼公演をもつこととなり

改めてこの作品の凄さと向きあいます。

子どものための読み物

「ゆきこんこん物語」の

一つでありながら

おとなの心を深くえぐって

描かれたこの物語を、

三人の邦楽家の

熟達した芸とともに

ポポロの総力を結集して

作者の思いを最高の形で

代表 山根 宏章



2007年上演時のカーテンコール  
さねとう先生と

「おらのこと、鬼じゃあんめえかと  
思っとるだね」

「えー!？」

「フツ、フ、フ……」

鬼だと思やあ、鬼になる。  
親切な木こりと思やあ、  
親切な木こりにもなる」

「そ、それで……  
どっちなのだえ、お前は？」

「さあてそれは、  
お前さまの心次第だな……」

## 性懲りもなき野望

ポポロの40周年記念誌に寄せていただいた  
さねとうあきら先生の文章です。

ボクの創作民話「おにひめさま」は、ありつたけの愛おしさを込めて「永遠の  
女人像」を描き出した、とりわけ思い入れの深い作品である。一九七二年、ボ  
クの第一作品集「ゆきこんこん物語」に収めて発表したのだが、他の作品群は  
それなりの評価を得て脚光を浴びたのに、決して道徳的とはいえない自由奔放な  
「姫」の生きざまに反感をもたれたのか、さしたる反響もなく冷やかに捨て置  
かれた。

だから、それから十五年以上も経て、突然、人形劇団ポポロの山根さんから、「お  
にひめさま」の上演許可を求められたときは、「何で「おにひめ……」？」と、  
思わず問い直すほどの驚きだった。あまり長いこと陽の目をみなかったので、  
ほとんど絶望しかけていたのだ。ポポロの創立は、奇しくもこの作品を発表し  
た一九七二年というから、劇団創立以来、「おにひめさま」を温め続けたことに  
なる。その心意気を感じて、ボクは「一も二もなく上演を許諾した」。

(中略)

思えば「鬼と女性」をテーマにした二作（「鬼ひめ哀話」と「鬼笛」）によって、  
ボクと山根さんとの付き合いは二〇年以上にも及ぶが、その間、「鬼」のように  
執念深く、拙作を見放なそうとしなかった彼の信念の固さには、脱帽せざるを  
得ない。「性懲りもない彼の野望」に、再三、再四、付き合うこととなったが、  
破れてもなお落ち込むことなく、実に爽やかである。山根さんのお人柄だろうか。

## 邦楽と人形劇のコラボレーション

語りのような独特の音を  
奏でる和楽器の生演奏  
が、物語を彩ります。

ポポロ初期に多くの音楽  
を創っていたいた故大  
倉ただし氏による初めて  
の邦楽を、仲林光子師匠  
（箏曲七声学院主宰）他  
の方々の生演奏でお送り  
します。人形劇と邦楽の  
生演奏が織りなす、すば  
らしいコラボレーション  
をお楽しみください。

地唄・三弦・仲林光子  
囃子方・吉口克彰  
笛・仲林利恵



## さねとう先生とポポロ

一九九〇年初演の「鬼ひめ哀話」（さねとうあきら原作）  
で出会い、三十周年記念公演（二〇〇七年）の「鬼ひめ  
哀話」では演出を、「鬼笛」（さねとうあきら原作）では  
監修・補訂をお願いしました。さらに、四十周年記念公  
演「耳なし芳一」では再び演出をお願いし、その際の体  
を張った演出は出演者のみならず、演奏者、スタッフと  
もに息をのむばかりでした。

## 人形劇団ポポロ

人形劇団ポポロは、一九七二（昭和四十七）年に小平（東京都）  
を拠点に創立した人形劇団です。オリジナル脚本・音楽と生の  
声での上演にこだわり、観客とキャッチボールできるライブ感  
を大切にしたいという想いで「いつでもどこでもおもしろい」  
人形劇を「合言葉」に活動しています。  
子ども向けの作品だけではなく、高い年齢層も楽しむことので  
きる作品「鬼ひめ哀話」「鬼笛」「耳なし芳一」「夢裁き★ほんま  
のところ」では邦楽演奏との競演で好評をいただきました。  
小スペースから大ホールまでさまざまな会場で鑑賞できる作品  
で、全国各地にて活動しています。

## 代表 山根宏章 「日本児童青少年演劇協会賞」を受賞

受賞理由として、六十年に渡って人形劇活動に従事し、様々な  
作品の脚色・演出に優れた成果をあげた。また二〇一四年には上  
演した山根宏章ひとり舞台「夢裁き☆ほんまのところ」他では  
高い評価を得た。その功績に対して二〇一四年度「日本児童青  
少年演劇協会賞」を受賞しました。

写真はすべて初演時のものです